

東日本大震災から5年、テレビのキャスターニュース番組は何を伝えてきたか

原 由 美 子*

はじめに

2016年3月、東日本大震災発生から5年の節目を迎えた。この間、テレビはこの未曾有の大災害をどのように伝えてきたのだろうか。本稿では、各局が平日夜間に放送するキャスターニュース番組を対象として、これらの番組が5年間に報じた東日本大震災関連のニュースの推移を分析した結果を報告する。⁽¹⁾

I 分析の方法

1-1 関連番組の収集と保存

まず、分析の方法についてまとめておきたい。東日本大震災が発生した直後から、NHK放送文化研究所では、この大災害の状況やその後の推移をテレビがどのように伝えたかを検証する必要があると考え、関連番組の収集と保存を開始した。災害の発生当初数ヶ月は、手作業で報道番組や関連番組の保存を行っていたが、同時に、テレビ番組の内容や関連情報の提供を行う企業の利用可能性を検討し、2011年8月から、そうした企業の一つであるJCC社のシステムを利用することとした。

関連番組の収集にあたっては、キーワードを設定し、そのキーワードがメタデータに含まれる番組を保存する、という方法をとった。設定したキーワードは、「震災」「復興」「原発」「放射能」「エネルギー」の5つである。

1-2 メタデータとは

JCC社などのシステムでは、テレビ番組がどのような内容を伝えたかを簡潔に要約した文字情報やその時間量が提供される。その内容の詳細は、データを作成する企業によって特徴があるようである。また、番組の種類によってもその濃淡が異なるが、情報番組や報道番組については、扱われた内容や取材地、登場人物など、比較的詳細な情報が付されている。これをメタデータと呼び、分析対象番組を特定したり、そのおおよその内容を把握したりするのに利用できる。⁽²⁾

図1は、JCC社のRCNアーカイバーというシステムで収集保存した番組を表示する画面の例である。放送日等の情報を入力すると、指定したキーワードを含む番組とその概要（メタデータ）の一覧が表示される。

これらのメタデータは、エクセルのデータとして保存することが可能である。表1はエクセルに保存されたメタデータの一部である。

このデータには、放送日、放送局、番組名、番組の放送開始と終了時間、キーワードを含むメタ

*はら ゆみこ NHK放送文化研究所 研究主幹

図1 JCC 画面例



データを付されたコーナーの開始と終了時間、その時間量（秒数）、コーナーのタイトル、コーナーの概要（メタデータ）が含まれている。

1-3 分析の手順

① 分析対象番組のデータへの限定

表1に示した段階では、データには関連キーワードを含むすべての番組が放送時間順に並べられている。そこでまず、分析対象番組のデータだけに絞り込む必要がある。今回は、後述する6つのキャスターニュース番組のデータにしぼって分析した。

② ノイズの除去

関連キーワードは、前述したように「震災」「復興」「原発」「放射能」「エネルギー」の5語であるが、それらを含むからといって必ずしも東日本大震災関連の内容であるとは限らない。今回の場合も、いくつもの無関係なデータ（ノイズ）が含まれていた。表2は、その一部である。「エネルギー」という語を含むデータには、中東関係のニュースなどが数多く含まれていた。また「復興」や「原発」も、異なる文脈で用いられたものを拾うケースが少なくなかった。

これらの一見無関係なデータも、どこまでをノイズとするかは分析者の判断次第である。

今回は、海外の出来事など明らかに無関係なものは除外したが、「阪神淡路大震災からの復興」や「原発の再稼働」関連のものについては、除外せずに集計することにした。

こうした判断の難しさもさることながら、大量に収集されたデータから1件ずつ精査してノイズを除外していくためには時間と手間が膨大にかかる。今後、こうしたビッグデータを利用した分析作業が増えると考えれば、あえてノイズは除外せず、統計データの誤差と同様に考えて処理するという考え方も成り立つのかもしれない。ノイズを極力少なくし、しかも必要な番組を確実に収集するために、設定するキーワードの吟味が重要であることは言うまでもない。

表1 JCCメタデータ例

放送日	放送局	番組名	番組開始	番組終了	放送開始	放送終了	放送時間	<コーナー名> ニュースタイトル	詳細
2011/4/1	NHK 総合	視点・論点	2011/4/1 4:20	2011/4/1 4:30	2011/4/1 4:20	2011/4/1 4:25	302	長期の視点 で支援	NPO レスキューユニット・チャックヤード代表理事・栗田暢之の解説。自衛隊、消防、警察が必死の救援活動をしているが、ボランティア元年と呼べない。1995年の阪神淡路大震災は138万人が駆けつけ、ボランティア元年と呼ばれた。ボランティアを受け入れる仕組みとして、社会福祉協議会を中心に、ボランティアやNPOが連携し、災害ボランティアセンターが設立されるようになった。しかし、今回の東日本大震災では社会福祉協議会が被災したり、拠点となる庁舎が流された地域もある。そのため、受け入れ態勢自体が困難な状況。今回の震災の特徴は、非常に広範囲であること、原発事故を含め、支援の姿が複雑化して長期化が懸念されること。人が入りやすくなったこれからはボランティアの活動が求められる時期になる。
2011/4/1	NHK 総合	視点・論点	2011/4/1 4:20	2011/4/1 4:30	2011/4/1 4:25	2011/4/1 4:29	278	長期の視点 で支援	NPO レスキューユニット・チャックヤード代表理事・栗田暢之の解説。ボランティアに行く人には、現地の状況を確かめてもらいたい。避難所は被災者の住まい。土足で踏む込むようなことはできない。どろどろになった家財道具はごみでなく、思い出のつまったもの。被災者の思いに立った支援が必要。現地の支援がスムーズにできるよう、東日本大震災支援全国ネットワークを3月30日に設立した。支援が入らうとする団体間の過不足を補い合うための情報の広場とした。また、支援が入らない地域をなくしていくきたい。「おたがいがさま」の精神で、「絆」を基礎に、ボランティア活動をすすめていきたい。
2011/4/1	NHK 総合	視点・論点	2011/4/1 4:20	2011/4/1 4:30	2011/4/1 4:29	2011/4/1 4:30	9	予告・復旧・復興過程の 災害情報・田中淳	
2011/4/1	NHK 総合	おはよう日本	2011/4/1 4:30	2011/4/1 8:00	2011/4/1 4:30	2011/4/1 4:33	197	海の汚染・ モニタリング強化	福島第一原発の1～4号機の水を流す放水口付近で、国の基準の4385倍のヨウ素131を検出した。5号機6号機の放水口付近でも1425倍。原子力安全保安院はモニタリングを強化し、放射性物質の水が海でどのように広がっているか調査することとしている。原子力発電所内で見つかった汚染された水の処理が少しずつ進んでいる。原子力安全保安院、東京電力のコメント。福島第一原発の映像。DigitalGlobe、日立ソリユーションズ。撮影：自衛隊、国土交通省東北地方整備局。
2011/4/1	NHK 総合	おはよう日本	2011/4/1 4:30	2011/4/1 8:00	2011/4/1 4:33	2011/4/1 4:36	158	福島県飯館村・ 土壌から避難基準の2倍	IAEAは福島第一原発周辺地域でセシウム137とヨウ素131を測定した。その結果、福島県飯館村の土壌から放射性物質2000万ベクレル/平方メートルが検出された。IAEAは、避難基準の2倍にあたるとして、日本政府に状況の注視を求めた。原子力安全委員会は、屋内退避の地域を変更する状況にはないと考えを示した。専門家は、屋内退避や避難も含めて対策を検討する必要があると指摘している。原子力安全委員会、名古屋大学大学院・山澤弘実教授のコメント。IAEAの調査、福島県飯館村の映像。

表2 ノイズの例

放送日	放送局	番組名	番組開始	番組終了	放送開始	放送終了	放送時間	<コーナー名> ニュースタイトル	詳細
2011/8/25	NHK 総合	ニュースウォッチ9	2011/8/25 21:00	2011/8/25 22:00	2011/8/25 21:04	2011/8/25 21:05	92	リビア・反政府勢力・新政権へ始動	リビアでは戦闘が続く一方で新政権発足への動きが加速。問題は資金不足。カターで24日に開かれた欧米やアラブの支援国との会合で、2000億円の緊急支援が決定したが、復興にはさらに資金が必要。注目されているのがカダフィ政権の巨額の資産。リビア・ベンガジ、カターハ、カダフィ大佐の家族の住居の映像。国民評議会・アブドゥルジャリル議長、カターハ、アディーヤ国際協力相のコメンent。
2011/8/25	NHK 総合	ニュースウォッチ9	2011/8/25 21:00	2011/8/25 22:00	2011/8/25 21:05	2011/8/25 21:07	92	リビア・復興の切り札 “カダフィ資産”	リビアは世界8位の石油埋蔵量を誇り、オイルマネーがカダフィ政権を支えてきた。カダフィ大佐や一族が国外に保有していた資産は約10兆円。日本にも総額で3300億円の資産。2月以来、国連の制裁決議で凍結されている。国連安保理では凍結されている資産を人道援助に充てる案の協議を開始。米国の凍結した一部、約1150億ドルを食糧援助等に充てようという。暫定政府の成立を目指す反政府勢力側は、カダフィ政権の資産を活用して新たな国づくりに乗り出せるかが焦点。国連本部の映像。ドイツ・ベルギー国連次席大使のコメンent。
2011/6/9	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	2011/6/9 23:00	2011/6/9 23:58	2011/6/9 23:38	2011/6/9 23:39	99	米国・金融政策・難しいかじ取り	ECB・トリシエ総裁は9日米月の利上げを示唆したが、米国では出口政策の議論が行われているに過ぎず、金融引き締めめのタイムリにはまだ視野に入っていない。ただデフレリスクが後退し、緩やかなインフレに転換する中、追加の金融緩和策・QE2の延長やQE3の導入はいまのところないとみられている。8日に発表された、全米地区連銀の経済報告・ベージュブックからすれば、今月下旬のFOMCでは、景気判断の下方修正は小幅となり、QE2も予定通り終了になる見通し。ベージュブックでは、日本の震災による供給障害や、資源高を受けた景気減速が報告されたが、経済活動は全般的に拡大したとされ、このところの急速な経済指標の悪化と比べやや明るい内容となった。また労働市場の緩やかな改善傾向が指摘されたほか、食品・エネルギー価格の上昇とそれを受けた価格転嫁の動きも指摘されている。ただ今後1～2か月で経済指標が急速な改善を示すことは難しく、景気の再加速が後ずれした場合には追加緩和にも出口政策にも動けない状況に追い込まれる可能性が高いとみられている。三菱東京UFJ銀行NY・岩岡聰樹のスタジオコメンent。(中継) ニューヨーク支局。
2011/7/12	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	2011/7/12 23:00	2011/7/12 23:58	2011/7/12 23:43	2011/7/12 23:45	111	欧州の信用不安直撃・1ドル80円突破	ギリシャからイタリアなどに広がりを見せている欧州の信用不安がきよの東京市場を直撃した。日経平均株価は1万円割れ、為替相場では円高が進み、1ユーロは109円台、1ドルは80円を突破した。そうした中日銀の金融政策決定会合が開かれ、震災の影響で今年度の成長率を0.4%に下方修正し、さらなるリスクとして欧州情勢への警戒感が示された。トウキョウォラント上田ハローの映像。民主・枝野官房長官、日銀・白川総裁の会見。野田財務大臣のコメンent。
2011/7/13	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	2011/7/13 23:00	2011/7/13 23:58	2011/7/13 23:00	2011/7/13 23:01	59	円急騰一時78円台	ユーロ圏に端を発した円高は今朝、震災後の3月17日以来となる一時1ドル78円台に突入した。円高はギリシャの財政問題が、イタリアなどに波及するとの懸念がきっかけで進んだ。さらに日本時間の今朝、米国の格付け会社・ムーディーズがアイルランドの格下げを発表したことで円が急騰。これを受けて民主党・野田財務大臣が「一方的な動きだ」と相場をけん制したが、円高基調は変わらなかった。
2011/8/4	テレビ東京	ワールドビジネスサテライト	2011/8/4 23:00	2011/8/4 23:58	2011/8/4 23:54	2011/8/4 23:56	114	<WBSocial> 視聴者からの質問	米債務上限引き上げ問題の混乱劇から日本が学べることは？ 三菱東京UFJリサーチ&コンサルティング調査部長・五十嵐敬喜のスタジオコメンent。消費税引き上げについて。■あすの予告・「売れ行き逆転」に商機あり■原発汚染水処理に挑む日本企業。

③ 集計データの作成

表1を見るとわかるように、関連キーワードを含むコーナーは、それぞれ1行のデータとして表示される。同一番組の中で表示された複数のコーナー時間量の総計を求めれば、その番組の中で扱われた関連報道の量が求められる。

コーナーの区切りは、メタデータ作成者の判断によるため、必ずしも統一的ではないようである⁽³⁾。そのため、ドキュメンタリー番組の構成などといった内容を把握するためにメタデータだけを用いるのは危険である。コーナー概要の冒頭に同じ表現の語句が並んでいたり、番組によっては全体を一つのコーナーとして要約したりする場合もあるからである。しかしニュース番組の場合は、このコーナー区切りをニュースの項目の区切りとして代用できると考えた。したがって本稿で行うニュースの件数推移は、このコーナー数で求めている。

このように、1行に1件のデータシートになっていれば、各種統計ソフトにかけられるデータとして用いることができる。今回の分析では、放送時間量データと文字データをそれぞれSPSSとTrue Teller⁽⁴⁾を用いて分析した。

1-4 分析対象番組

5年間の報道傾向の推移を探るにあたり、分析対象番組を、各局夜間のキャスターニュース番組とした。これらの番組は、東京キー局6局のすべてで編成されていること、平日毎日放送され、1日の締めくくり、まとめ的な位置にあること、各局を代表するニュース番組と考えられることなどの理由による。具体的には、以下の番組である。

NHK 「ニュースウオッチ9」

日本テレビ 「NEWS ZERO」

テレビ朝日 「報道ステーション」

TBS 「NEWS23」

テレビ東京 「ワールドビジネスサテライト」

フジテレビ 「ニュース JAPAN」(2015年3月まで)

「LIVE2015 あしたのニュース&すぽると！」(2015年4月～2016年3月)

II キャスターニュース番組の5年間

2-1 震災関連報道の量的推移

図2は6番組全体での5年間の関連報道時間量の推移を示したものである。2011年4月には月に61時間あまり(222,342秒)もの報道量があったが、11月まで月を経るごとに減少し続け、11月の報道量は14時間半程度(52,189秒)へと激減した。その後は、毎年3月の節目の月の報道量は多いものの、徐々に減少を続けている。2016年3月は5年目ということもあり、それまでの3月を上回る報道量であった。

図2を見ると、毎年3月には報道量が増えるが、3月を越すごとに報道量が段階的に減少している。そこで年ごとに、3月と、3月以外の月の平均値を算出してみた。(図3)これをみると、3月以外の月の報道量の減少がより際立っていることが明らかである。

表3は、震災関連報道が番組全体に占める占有率の推移を番組別に示したものである。

図2 震災関連報道時間量推移

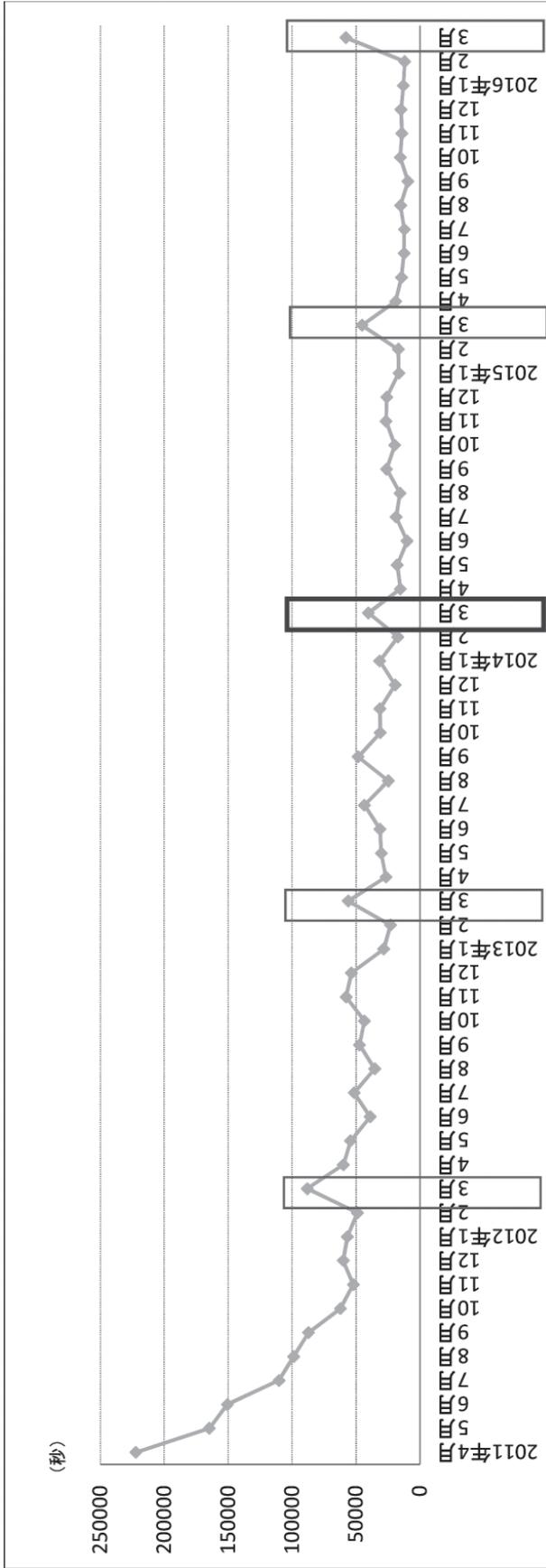


図3 月別報道時間量の推移

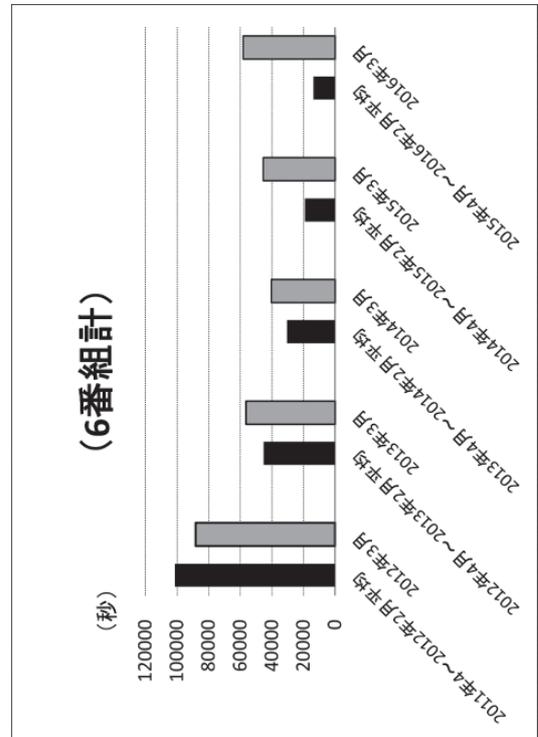


表3 番組別・月別推移

	NW9	ZERO	報ステ	N23	WBS	JAPAN / あした
2011年4月	78.7%	39.0%	43.2%	46.4%	38.2%	62.4%
2011年5月	62.1%	32.0%	27.6%	34.5%	30.7%	41.7%
2011年6月	52.2%	29.4%	34.8%	28.1%	24.7%	37.7%
2011年7月	39.0%	23.6%	27.5%	19.5%	16.9%	31.5%
2011年8月	35.4%	17.7%	24.1%	16.7%	12.0%	20.5%
2011年9月	32.2%	18.2%	20.3%	10.9%	12.9%	20.7%
2011年10月	30.3%	8.3%	14.1%	7.9%	10.1%	20.4%
2011年11月	18.6%	14.0%	10.6%	7.4%	5.8%	16.3%
2011年12月	27.1%	12.7%	14.4%	11.8%	7.9%	12.6%
2012年1月	24.7%	10.7%	16.5%	11.5%	7.8%	12.8%
2012年2月	21.4%	9.9%	9.6%	10.7%	6.7%	12.4%
2012年3月	37.4%	18.3%	18.2%	16.3%	10.8%	18.7%
2012年4月	25.0%	8.0%	17.1%	10.3%	9.6%	14.8%
2012年5月	18.9%	7.1%	18.2%	7.3%	7.0%	9.2%
2012年6月	14.6%	4.5%	13.4%	5.1%	5.8%	9.8%
2012年7月	17.2%	8.1%	14.2%	9.6%	6.3%	17.8%
2012年8月	9.8%	3.2%	10.8%	7.8%	5.4%	11.5%
2012年9月	16.3%	10.5%	15.7%	9.8%	4.2%	12.5%
2012年10月	12.3%	7.1%	10.7%	7.4%	6.5%	15.8%
2012年11月	19.6%	6.6%	19.6%	10.5%	5.7%	17.6%
2012年12月	20.2%	12.7%	11.7%	12.5%	6.5%	15.1%
2013年1月	8.6%	5.6%	9.3%	5.3%	4.7%	9.3%
2013年2月	9.0%	3.4%	8.0%	4.7%	2.6%	6.3%
2013年3月	18.3%	16.9%	14.3%	6.4%	8.4%	11.0%
2013年4月	11.7%	3.4%	6.7%	5.7%	3.1%	2.2%
2013年5月	10.0%	3.3%	11.7%	4.3%	2.3%	4.4%
2013年6月	10.0%	5.2%	11.4%	8.3%	3.2%	5.2%
2013年7月	13.8%	6.7%	15.1%	7.1%	4.0%	3.9%
2013年8月	9.0%	5.4%	7.2%	2.8%	3.2%	4.6%
2013年9月	21.0%	7.6%	16.3%	6.5%	3.7%	11.2%
2013年10月	12.2%	2.8%	10.0%	4.2%	3.9%	4.5%
2013年11月	12.5%	2.8%	11.9%	3.7%	4.2%	8.1%
2013年12月	6.9%	2.5%	9.1%	3.1%	2.9%	0.3%
2014年1月	7.7%	2.9%	13.8%	7.5%	5.7%	7.4%
2014年2月	6.7%	1.0%	7.9%	2.2%	3.1%	2.8%
2014年3月	15.9%	10.6%	6.2%	5.2%	10.6%	7.0%
2014年4月	5.6%	0.9%	5.4%	3.0%	2.3%	2.6%
2014年5月	5.9%	3.1%	6.2%	4.3%	1.3%	1.2%
2014年6月	4.3%	1.8%	2.4%	2.1%	1.7%	2.0%
2014年7月	5.0%	3.9%	5.1%	3.0%	4.2%	1.4%
2014年8月	6.9%	1.5%	5.4%	1.2%	3.6%	2.5%
2014年9月	11.0%	5.0%	6.7%	4.6%	2.8%	4.0%
2014年10月	9.3%	1.5%	6.8%	1.9%	2.7%	0.4%
2014年11月	11.0%	2.0%	11.3%	3.9%	5.9%	0.4%
2014年12月	14.7%	2.9%	8.4%	4.7%	2.7%	1.7%
2015年1月	7.3%	4.1%	4.2%	3.1%	3.0%	1.7%
2015年2月	8.0%	1.9%	6.4%	1.6%	3.1%	3.5%
2015年3月	21.2%	10.8%	8.0%	8.6%	6.0%	3.3%
2015年4月	7.8%	3.2%	5.4%	2.2%	1.8%	2.7%
2015年5月	5.8%	2.7%	3.7%	2.6%	2.7%	1.3%
2015年6月	3.4%	3.3%	3.5%	1.8%	1.9%	0.7%
2015年7月	5.5%	0.7%	3.9%	2.6%	1.0%	0.0%
2015年8月	6.0%	1.0%	5.3%	2.0%	4.3%	0.4%
2015年9月	4.4%	2.0%	1.7%	2.4%	1.0%	0.0%
2015年10月	4.5%	2.9%	4.6%	3.0%	2.3%	1.4%
2015年11月	4.4%	1.5%	3.7%	4.1%	3.3%	1.2%
2015年12月	5.9%	3.1%	3.7%	4.9%	2.9%	0.6%
2016年1月	6.5%	2.0%	3.4%	2.0%	2.7%	1.1%
2016年2月	6.8%	1.9%	2.5%	2.0%	1.8%	0.4%
2016年3月	20.9%	10.7%	9.1%	12.3%	11.0%	4.2%

10% ごとに網掛けを濃くした

10%ごとに枠内の色の濃度を変えてあるが、徐々に濃度が薄くなる様子がわかる。

震災発生当初の3ヶ月、「ニュースウォッチ9」では5割を超え、民放各番組も3割強が続いていた。その後2012年3月まで、「ニュースウォッチ9」は2～3割台、民放各番組も1割強で推移する。2012年4月以降「ニュースウォッチ9」は1～2割が続くが、民放では1割を切る月も出てくる。民放番組の中では「報道ステーション」の占有率が比較的高い。

その後も減少傾向が続き、2014年になると、番組によってはほとんど扱わない月も出てきていた。なお、2013年9月に報道量が増えているのは、その月に福島第一原発4号機タンクからの汚染水漏れが判明したためである。

2-2 キーワード別の推移

図4は、5つのキーワードごとに、それが含まれる項目の件数推移をみたものである。(6番組全体)

「震災」または「原発」を含む項目が、他の3つの語を含むものに比べ圧倒的に多い。「復興」を含む項目は、節目の3月や防災の日のある9月などに増加する傾向がみられるが、「放射能」や「エネルギー」については少ない状況が続いている。とくに「放射能」を含む項目は少ない。

① 「震災」関連の報道

では、それぞれのキーワードに関連する報道では、どのような内容が伝えられていたのだろうか。本節では、テキストマイニングソフトを用いた分析結果を報告する。

表4は、「震災」という語が含まれた項目全体での頻出語彙のランキングの推移(上位50語のみ掲載)をまとめたものである。左端が5年間全体、右に行く順に、2011年4月～2012年3月、2012年4月～2013年3月というように1年ごとに頻出単語をみてみた。

5年間全体では、「東日本大震災」「コメント」「映像」「震災」「被災地」「復興」などの語が上位に挙がっている。このうち、「コメント」と「映像」が多いのは、メタデータ内の記述の特徴として「□□についてコメント」「△△の映像」といった語句が頻繁に使われるためである。

「被災地」が5位、「復興」が6位に挙がっているが、1年ごとの推移でも、これらの語はいずれの年も10位以内に入っている。そのほか、「津波」や地名「宮城」「福島」など上位の語はあまり変わっていない。

その中で、1年目19位、2年目89位、3年目34位だった「被災者」という語は、4年目以降は100位以内に入らなくなった。メタデータの語彙の分析なので、番組内で実際に「被災者」という言葉がどの程度使われていたかは特定できない。しかし、番組内で使用されないことが、メタデータの記述にもある程度反映していると考えられる。被災した人々も、それぞれの状況が変化する中で、ひとくくりの「被災者」という言葉で指し示すことがふさわしくなくなっている状況を示しているのかもしれない。⁽⁵⁾

② 「原発」関連の報道

表5は、「原発」を含む項目全体の頻出語彙ランキングの推移(上位50語のみ掲載)である。

「東京電力」や「福島第一原発」「福島第一原発事故」などの語がいずれの年にも上位にある。し

表4 「震災」関連メタデータ 頻出語上位

順位	震災 (5653)		2011/04/01~ 2012/03/31 (3243)		2012/04/01~ 2013/03/31 (890)		2013/04/01~ 2014/03/31 (539)		2014/04/01~ 2015/03/31 (509)		2015/04/01~ 2016/03/31 (472)	
	単語	件数	単語	件数	単語	件数	単語	件数	単語	件数	単語	件数
1	東日本大震災	4324	東日本大震災	2472	東日本大震災	686	東日本大震災	399	東日本大震災	401	東日本大震災	366
2	コメント	3118	コメント	2051	コメント	527	映像	305	映像	286	映像	233
3	映像	3058	映像	1717	映像	517	コメント	245	震災	180	震災	228
4	震災	2108	震災	1179	震災	309	震災	212	コメント	150	宮城	149
5	被災地	1453	被災地	843	被災地	212	被災地	144	復興	140	コメント	145
6	復興	1234	復興	684	津波	176	復興	130	被災地	128	津波	126
7	津波	1022	東京	509	復興	160	津波	119	話す	121	被災地	126
8	東京	944	津波	498	東京	142	福島	99	人	117	人	120
9	人	862	影響	479	日本	136	宮城	98	宮城	116	復興	120
10	日本	817	日本	463	去年	133	東京	94	東京	113	コメントする	106
11	宮城	809	受ける	461	宮城	118	人	86	福島	106	話す	106
12	被害	784	人	438	被害	111	岩手	79	津波	103	福島	96
13	受ける	764	被害	431	地震	107	言及	75	日本	96	岩手	89
14	影響	683	宮城県	389	きょう	105	ロゴ	71	岩手	91	被害	89
15	福島	627	岩手県	338	人	101	きょう	69	被害	91	東京	86
16	きょう	601	多い	336	言及	100	今	65	きょう	80	受ける	83
17	宮城県	589	宮城	328	取材する	91	被害	62	受ける	73	言及	77
18	多い	588	政府	304	政府	91	紹介する	61	思う	71	思う	77
19	地震	559	被災者	294	対策	91	取材する	60	述べる	65	今	70
20	行う	514	地震	291	受ける	88	日本	60	災害	63	多い	69
21	取材する	509	行う	289	宮城県	87	受ける	59	多い	62	きょう	64
22	政府	503	取材する	289	福島	85	つく	57	今	59	行う	62
23	岩手	498	民主党	287	紹介する	83	中継	57	地震	59	日本	62
24	岩手県	493	きょう	283	影響	82	住民	54	コメントする	58	日	59
25	福島県	465	福島県	283	発表する	82	多い	51	行われる	58	町	56
26	行われる	460	スタジオ コメント	271	行う	77	地震	51	住民	55	中継	53
27	言及	456	発表する	267	スタジオ コメント	76	述べる	50	言及	53	ある	52
28	紹介する	456	行われる	242	つく	74	地区	50	地域	53	大きな	51
29	対策	451	支援	242	行われる	73	大きな	49	大きな	52	地元	51
30	住民	446	紹介する	242	経済	72	する	48	ある	50	地震	51
31	大きな	430	福島	241	住民	71	宮城県	46	出る	48	当時	50
32	去年	429	対策	237	多い	70	仮設住宅	43	する	47	ロゴ	48
33	被災者	429	ある	228	福島県	70	対策	43	考える	47	活動	48
34	発表する	428	出る	224	米国	69	被災者	43	どう	46	宮城県	48
35	今	423	住民	223	新たに	67	ある	42	中継	46	男性	48
36	ある	420	社長	222	岩手県	64	行う	42	影響	45	見る	47
37	スタジオ コメント	403	大きな	222	起きる	62	去年	41	対策	45	行われる	47
38	支援	400	新たに	215	国	61	原発	41	起きる	44	災害	46
39	出る	387	求める	207	最大	61	思う	41	行う	44	使う	46
40	新たに	378	企業	206	支援	61	コメントする	40	進める	43	事業	46
41	地域	370	全国	205	地域	61	影響	40	当時	43	石巻市	46
42	民主党	368	東京電力	203	防災	61	行われる	40	見る	41	する	45
43	国	367	今後	195	どう	60	福島県	40	取材する	41	どう	45
44	使う	366	示す	195	中継	60	話す	40	いる	40	去年	45
45	中継	365	会見	194	調査	59	どう	39	今回	40	考える	44
46	ロゴ	359	続く	194	避難	59	国	39	ロゴ	39	述べる	44
47	災害	355	活動	192	紹介	56	問題	39	言う	39	住民	43
48	活動	353	使う	191	大きな	56	使う	38	国	39	国	42
49	問題	349	岩手	189	全国	55	子ども	38	使う	38	続く	42
50	社長	348	必要だ	189	出る	54	政府	38	訪れる	38	原発事故	41

網掛けは地名を表した語

表5 「原発」関連メタデータ 頻出語上位

原発 (7375)			2011/04/01~ 2012/03/31 (3415)		2012/04/01~ 2013/03/31 (1489)		2013/04/01~ 2014/03/31 (1110)		2014/04/01~ 2015/03/31 (769)		2015/04/01~ 2016/03/31 (592)	
順位	単語	件数	単語	件数	単語	件数	単語	件数	単語	件数	単語	件数
1	映像	4105	映像	1871	原発	999	映像	657	原発	452	原発	341
2	原発	3917	コメント	1870	映像	916	原発	556	映像	395	映像	266
3	コメント	3543	原発	1569	コメント	913	福島第一原発	535	福島第一原発	256	福島第一原発	182
4	東京電力	2697	東京電力	1534	東京電力	380	コメント	473	東京電力	219	東京電力	167
5	福島第一原発	2695	福島第一原発	1362	福島第一原発	360	東京電力	397	福島	203	再稼働	154
6	福島第一原発 事故	1572	福島第一原発 事故	1000	政府	357	汚染水	283	再稼働	179	福島	147
7	福島	1379	事故	632	福島	287	問題	241	述べる	163	原発事故	137
8	事故	1282	原発事故	603	再稼働	252	福島	214	コメント	151	コメント	136
9	政府	1275	政府	586	原発事故	248	東電	193	問題	146	事故	136
10	原発事故	1240	福島県	581	事故	246	原子力規制 委員会	164	原発事故	122	福島第一原発 事故	118
11	原子力	999	会見	547	大飯原発	223	対策	155	事故	120	コメントする	103
12	福島県	997	福島	528	福島第一原発 事故	221	事故	148	国	117	川内原発	91
13	問題	958	原子力	510	日本	217	放射性物質	148	日本	117	話す	91
14	国	944	放射性物質	456	原子力	207	再稼働	146	福島第一原発 事故	117	言及	88
15	会見	933	国	444	調査	201	原子力	144	政府	115	計画	86
16	日本	931	住民	435	民主党	188	つく	143	話す	109	国	85
17	再稼働	864	撮影	418	経済	184	日本	140	原子力規制 委員会	106	住民	85
18	放射性物質	845	影響	403	スタジオ コメント	183	会見	139	きょう	103	原子力規制 委員会	84
19	住民	814	日本	396	行う	181	きょう	136	コメントする	99	述べる	82
20	行う	807	提供	391	委員会	180	国	136	方針	97	政府	82
21	対策	784	放射線量	376	示す	178	東京	136	求める	94	きょう	78
22	影響	752	行う	371	東電	171	政府	135	自民党	94	受ける	76
23	示す	749	東日本大震災	367	きょう	169	述べる	133	進める	94	福島県	72
24	きょう	705	受ける	364	自民党	169	原発事故	130	廃炉	94	方針	72
25	受ける	703	原子炉	354	関西電力	167	自民党	128	対策	89	放射性物質	71
26	方針	703	示す	348	問題	165	タンク	126	計画	88	問題	71
27	撮影	702	作業	342	求める	164	行う	119	思う	85	作業	70
28	作業	682	問題	335	福島県	164	福島第一原発 事故	116	住民	85	初めて	69
29	汚染水	681	対策	329	国	162	海	114	汚染水	83	求める	68
30	東電	679	避難	325	方針	158	可能性	110	川内原発	82	影響	67
31	東京	678	高い	315	対策	157	福島県	110	地元	82	人	67
32	スタジオ コメント	672	スタジオ コメント	306	新たに	156	撮影	109	東電	81	運転	64
33	求める	663	新たに	296	会見	149	作業	108	放射性物質	81	再稼働する	64
34	新たに	663	発表する	286	代表	147	汚染水漏れ	107	民主党	79	進める	63
35	調査	653	ある	282	可能性	141	方針	105	どう	78	避難	63
36	提供	640	東京	281	住民	141	安倍首相	103	原子力	76	原子力	62
37	東日本大震災	637	方針	271	電力	140	新たに	102	東京	75	行う	62
38	可能性	620	可能性	270	どう	138	計画	100	影響	74	東日本大震災	61
39	経済	620	原子力安全保 安院	265	去年	132	漏れる	100	行う	74	日本	61
40	民主党	595	調査	262	東京	132	委員会	99	作業	74	原子炉	60
41	ある	587	汚染水	256	委員長	131	影響	99	示す	74	廃炉	59
42	避難	586	人	256	つく	129	スタジオ コメント	96	出る	74	九州電力	58
43	高い	574	求める	250	知事	129	示す	96	人	74	高浜原発	58
44	社長	571	行われる	250	社長	128	社長	96	初めて	71	必要だ	58
45	人	568	菅首相	247	行われる	124	廃炉	96	福島県	70	続く	56
46	原子炉	555	経済	242	政策	124	経済	95	する	68	ある	55
47	述べる	552	今後	242	受ける	119	民主党	95	向ける	67	する	54

かし、それ以外の語をみると、「震災」関連項目に比べ、変動が大きいように見受けられる。

「放射能」や「放射性物質」に関わる語彙を見てみると、1年目には、「放射性物質」14位、「放射線量」21位、「汚染水」42位、「放射線」78位と、100位以内に4つの語が入っている。ところが2年目になると100位以内には77位の「放射性物質」1語だけになる。3年目の2013年には、前述したように、9月に「汚染水漏れ」の問題が浮上したこともあり、「汚染水」6位、「放射性物質」13位、「汚染水漏れ」34位、「汚染水対策」80位など「汚染水」にかかわる語が多く登場している。4年目になると、「汚染水」29位、「放射性物質」33位のほか、「廃棄物」という語が99位に入ってくるが、5年目では、100位以内にある「放射能」関連の語は、「放射性物質」25位、「放射線量」92位の2語のみとなっている。

この「原発」関連項目の出現語推移を見てみると、福島第一原発事故関連のニュースだけでなく、再稼動に関するニュースが数多く伝えられるようになる様子が浮かび上がってくる。

「再稼動」という語は、5年間全体で17位であるが、1年目には100位以内に入っていない。ところが2年目になると、8位に浮上、3年目14位、4年目6位、5年目5位と、「原発」に関して「再稼動」に関する問題が徐々に多く取り上げられるようになってきたことが明らかである。「大飯原発」や「川内原発」「関西電力」「九州電力」など、再稼動にかかわる原発や関連会社を示す語も上位に頻出するようになっている。

このように「原発」関連項目では、必ずしも震災時の原発事故に関わる問題だけが取り上げられているわけではなく、福島第一原発事故に関するニュースは、相対的に比重が薄れていっているとも考えられる。

そこで、「原発」を含む項目数と、そこに「福島」という語が含まれる項目数を算出してその推移を見てみた。(図5) これを見ると、2012年3月～2013年2月ごろは、「原発」関連報道が比較的多いにもかかわらず、「福島」についての言及率が低くなっている。2012年5月に国内の原発50基すべてが運転停止した後、関西電力大飯原発の運転再開への動き(6月に再開決定、7月4号機運転再開、8月3号機運転再開、11月大飯原発活断層調査開始など)があったためである。

③ 何が伝えられていないか

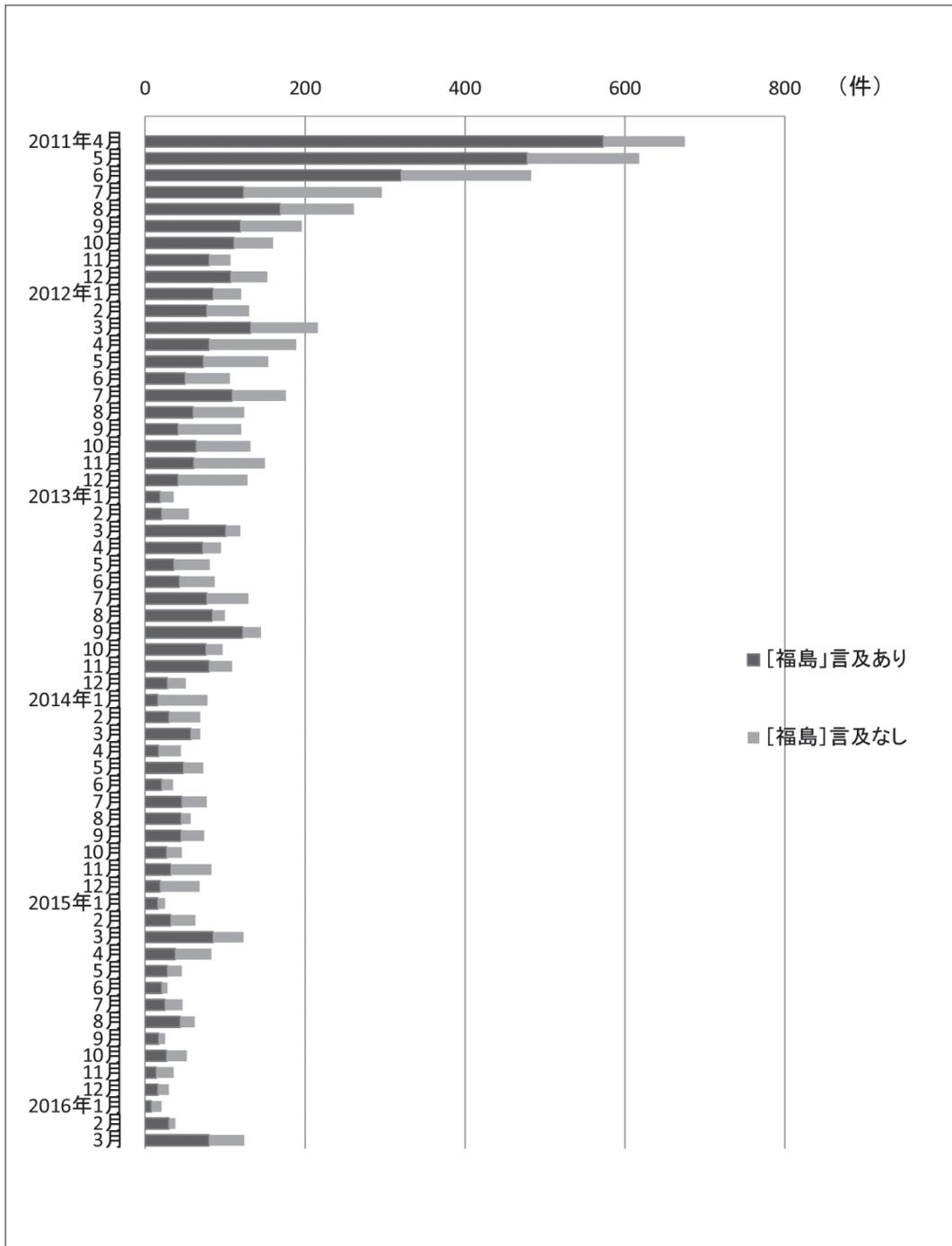
少し長くなるが、ある記事を引用する。

『『あの日』から5年になる。福島県内のほとんどの地域では日常を取り戻しているが、東京電力福島第一原発事故は依然、現在進行形で節目感はない。今なお10万人近い人たちが古里を追われ、生業を失い、家族を引き裂かれたまま仮設住宅などで不自由な生活を強いられている。先が見えない暮らしは人々の心身をむしばみ、震災(原発事故)関連死は直接死を大きく上回り、2000人を越えた。県内の除染で出た膨大な量の廃棄物を搬入する中間貯蔵施設の整備も遅々として進まず、避難住民への賠償問題も決着していない。

風化と風評という『二つの風』が容赦なく吹き付ける中、地元紙としていかに『福島は今』と事故の教訓を伝え続けるのか、悪戦苦闘の日々もまた継続中だ。⁽⁶⁾

これは、震災5年目に災害報道特集を組んだ雑誌に、福島の地元紙の責任者が寄せた文章の一部である。この中にある「関連死」「風評(被害)」について、キャスターニュース番組での5年間の推移を調べてみた。(図6、図7)

図5 原発関連項目の推移



「風評被害」については、全体で167件、原発事故発生直後の時期には比較的言及されていたが、その後は言及件数が激減している。「関連死」にいたっては、全体でも43件しかなく、2014年以降毎年3月には若干の言及があるが、全体での言及はたいへん少ないことがわかる。

「震災関連死」は、福島県では2000人を超え、震災での「直接死」を上回ったという。にも関わらず、全国放送のニュースで取り上げられる機会は非常に少ないのが現状である。

地元紙の責任者でさえ、「『福島の今』と事故の教訓を伝え続けるのに悪戦苦闘」と語るように、

図6 「風評被害」言及件数推移

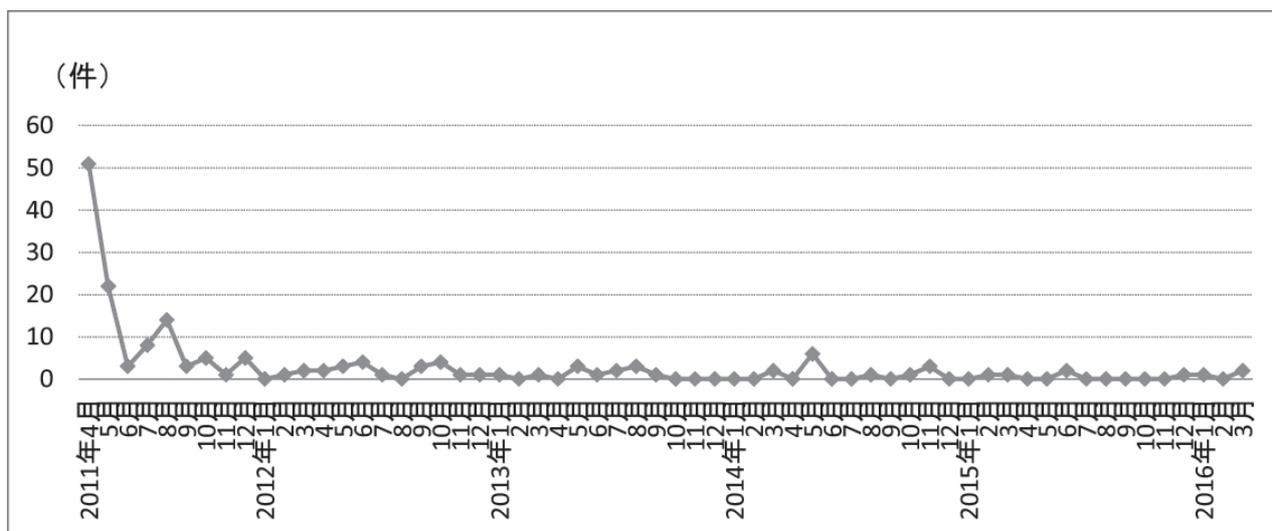
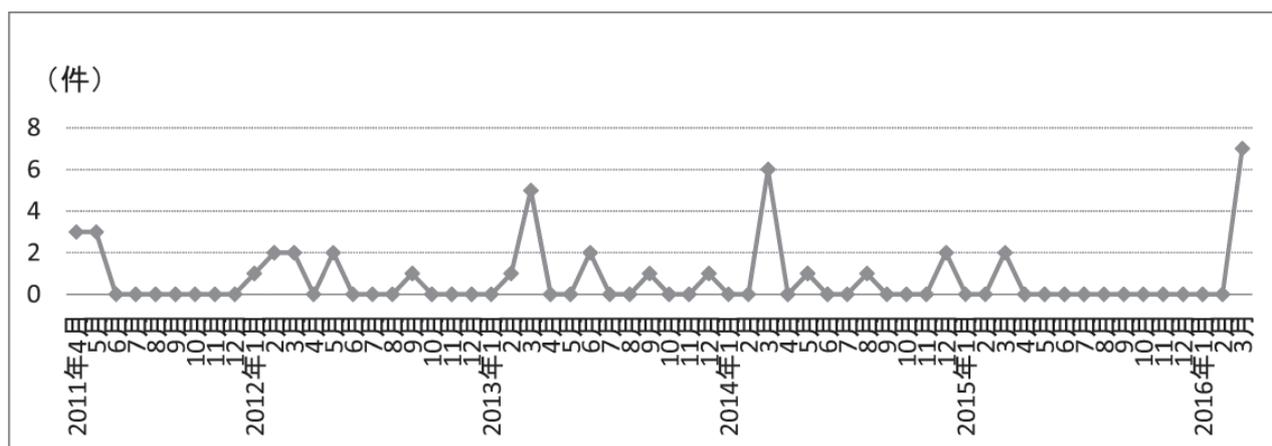


図7 「関連死」言及件数推移



時間が経過し、さまざまな事件・事象が起り続けるなかで、未曾有の大災害であった東日本大震災も、未だに多くの課題を抱える福島第一原発事故も、全国向けニュースの中では取り上げられる機会が減少していくことは否めない。その中で、どのように被災地の現状や問題を被災地以外の人々と共有していくか。5年目の節目を越えたこれからこそ、全国への発信力を持つメディアの果たすべき役割が大きいと言えるだろう。

おわりに

東日本大震災の発生から5年の年月を経て、関連報道の減少と3月への集中傾向が見出された。戦争や平和を考える報道や番組が、広島・長崎への原爆投下の日や終戦記念日のある8月に集中することを「8月ジャーナリズム」と呼ぶことがあるが、東日本大震災についても「3月ジャーナリズム」という現象が起きているように見える。こうした現象は「カレンダージャーナリズム」とも言われ、年に一度だけ、一時に集中的に報道すること、報道の仕方や語り口が定形化してくること

などが批判される。しかし、たとえ1年のうちの限られた期間であっても、その時期だけは当時や当事者に思いを馳せ、認識を新たにすることがあることは、それなりに意義があるといえるだろう。

とはいえ、被災した人々にとっては、節目の日だけに問題が浮上してくるわけではない。

1年に1度の集中的な報道を免罪符にすることなく、折に触れて被災地以外の人々の記憶を呼び覚ます努力が、メディア、とりわけ全国に発信力を持つメディアには求められる。

今回の報告は、5年間の経過をまとめたものだが、5年目の節目を越えれば、報道はさらに減少するおそれがある。政府の定めた「集中復興期間」が終了し、国内のいろいろな地域が、地震や台風・豪雨など多くの災害に見舞われる中で、東日本大震災に関わる問題は相対的に後景に追いやられる可能性がある。震災発生当時、メディアは、被災の経験を「風化させてはならない」、被災者や被災地を「忘れない」と唱えたが、果してどこまで継続的に追いつけることができるのだろうか。「5年までは継続して報道ができます。10年目もやれます。苦しいのは6年目から9年目です」とのメディア関係者の発言もある。⁽⁷⁾6年目以降の報道状況について、引き続き検証を続けていく必要があるだろう。

注

- (1) 本論文の内容とともに、ドキュメンタリー番組についても検証を加えた論文が、『NHK 放送文化研究所 年報 2017』に掲載されている。
- (2) メタデータの特徴やその研究への活用における課題等について、詳しくは、本誌掲載西田善行論文を参照されたい。また、西田報告をもとにメタデータの研究への活用法について議論するワークショップ「放送アーカイブ研究におけるメタデータ活用の試み～震災報道アーカイブ研究から」が2016年10月29日、日本マス・コミュニケーション学会2016年度秋季研究発表会において実施された。
- (3) 前掲西田論文参照。
- (4) IBM SPSS Statistics version21.
野村総合研究所 TRUE TELLER version8.5を使用。
- (5) 「被災者」という言葉については、震災発生直後の取材者がなるべく使わないように配慮したという報告もある。井上裕之「『被災者』ではなく『被災した人』～東日本大震災のNHK取材者アンケートから～」『放送研究と調査』2013年9月号
- (6) 早川正也「原子力災害の複雑な状況を丸ごと捉え県民目線で地域社会の問題に向き合う」『Journalism』2016年2月号
- (7) 鎌田靖「『復興が成し遂げられるか』6年目も伝えたい—特集・メディアは震災5年をどう伝えたか」『GALAC』2016年6月号

